

日本常民文化研究所 創立 100 周年記念事業

〔所員〕 内田青蔵 前田禎彦 安田常雄

2018 年度の事業

——アチック・ミュージアムのあった旧渋沢邸の訪問——

内田 青蔵

1. 日本常民文化研究所 100 周年記念事業について

日本常民文化研究所が渋沢敬三により創設されてからもうじき 100 年を迎える。この 100 年という記念すべき出来事を機に、これまでの日本常民文化研究所の歩みをさまざまな角度から振り返り、創設当初の渋沢敬三の精神を今後どのように継承し、また、発展させていくのかの手がかりとすべく、本学日本常民文化研究所の組織のひとつとして 100 周年記念事業委員会が編成され、活動を開始してきた。

日本常民文化研究所の歩みの基本的な情報源として、これまで本学移設前の状況を当時の関係者からヒアリングするという活動を行ってきた。具体的には、4 名の方々からヒアリングし、貴重な情報を得てきた。

一方、日本常民文化研究所が 1981 年に本学に移管され、神奈川大学日本常民文化研究所となつてから久しく、今年で 37 年が経つ。いわば、この 100 周年記念事業は、同時に神奈川大学移設 40 周年を記念する事業でもあるのだ。本学への移設以降の活動も多岐にわたるが、振り返れば、本学に移管された当時の事業担当者も退職され、その詳細は不明のまま放置されてきた。その意味では、100 周年記念事業委員会は、これまで行ってきた日本常民文化研究所創立 100 周年にかかわる事業の整理とともに、本学移設 40 周年事業として本学を中心とした関係者からヒアリングし、当時の状況を整理し記録として留めておくことも早急に行うべき必要があると考えられるのである。そこで、次年度には、本学関係者のヒアリングを積極的に進めたいと考えている。そのヒアリングも、我々担当者がお話をうかがうという方法とともに、できれば公開ヒアリングという形で、当時の職員や教員、あるいは学生だった方々に集まっただき、思い出話を語る座談会のようなものも企画したいと考えている。

また、これまで集めてきたヒアリングも、順次、文字として整理し、Web サイトで公開していくといった方法も漸次進めたいと考えている。

2. 今年度の事業の紹介

さて、こうした 100 年事業に関連する事業として、今年度実施したのが日本常民文化研究所の創設者渋沢敬三の旧宅視察であった（写真 1）。この旧宅は、しばしば渋沢敬三関係の写真の背後に

映っているもので、たとえば昭和10（1935）年頃のアチックのメンバーを写した写真の背後にある建物のことである（写真2）。ある種、常民関連の研究者にとってなじみのある建物といえるであろう。

この旧渋沢敬三邸は、かつて東京の芝区三田綱町（現・港区）に明治41（1908）年に父親の渋沢篤二が建てた伝統的な和風住宅であった。この建設にあたっては、明治9（1876）年に渋沢栄一が購入して住んでいた東京の深川区福住町（現・江東区）の渋沢栄一邸を解体移築し、再利用しながら大規模な増改築を行ったものだった。その後、父の住まいを受け継いだ渋沢敬三は、当時の洋風化した生活スタイルを採り入れるために、昭和4（1929）年から5（1930）年にかけて建物の一部を取り壊し、洋館に改める大改造を行っている。そして、この改造時期の直後の昭和8（1933）年、ガレージの屋根裏では狭くなったアチック・ミュージアムのための施設として、新たな建物を建設したのである。その場所は、敬三が改修して設けた洋館側で、北側に設けられた玄関脇だったようである。

戦後、渋沢敬三はこの建物と敷地は、渋沢敬三が財産税として物納したため、大蔵所の管轄となり大蔵大臣公邸や三田共用会議所などとして利用された。その後、平成2（1990）年に建物は、かつての渋沢家の執事を務めていた杉本行雄に払い下げられ、杉本は青森県の上北郡六戸町に移築した。その建物を、平成30（2018）年に深川時代の渋沢邸の増築を手掛けた現清水建設が入手し、改めて東京都江東区内に移築し、再建することとなったのである。こうした経緯から、解体直前の旧渋沢敬三邸宅の視察を行うことにしたのである。残念ながら、戦後の物納後にアチック・ミュージアムとして利用していた付属屋は取り壊されているものの、渋沢敬三の書斎や居間などから生活ぶりを知る機会となった（写真3）。この旧渋沢敬三邸に関する資料も、100年史の貴重な資料である。なお、この視察の詳細は、日本常民文化研究所のWebサイトに掲載されている（「旧渋沢邸の視察調査記」）。興味のある方はそちらをご覧ください。

■ 2018年度の活動

○旧渋沢邸見学 2019年1月20日 青森県三沢市古牧温泉旧渋沢邸 内田青蔵・小熊誠・須崎文代



写真1 旧渋沢邸外観写真



写真2 昭和10（1935）年頃のアチックのメンバーを写した写真（目録番号：写4-1-5-5／日本常民文化研究所所蔵）



写真3 旧渋沢邸・書斎